

➤ 16日 水曜

ホセア

13:1 「エフライムは震えながら語ったとき、イスラエルの中であがめられた。しかし、バアルのことで咎ある者となって死んだ。

13:2 今、彼らは罪を重ね、自分のために銀で鑄物の像を造り、自分の考えで偶像を造った。これはみな、職人のわざ。彼らはこれについて言う。『人を献げる者たちは、子牛に口づけせよ』と。

13:3 それゆえ、彼らは朝もやのように、朝早く消え去る露のようになる。打ち場から吹き散らされる穀殻のように、また、穴から出る煙のようになる。

13:4 しかしわたしは、エジプトの地にいたときから、あなたの神、【主】である。あなたはわたしのほかに神を知らない。わたしのほかに救う者はいない。

13:5 このわたしは荒野で、干ばつの地であなたを知っていた。

13:6 しかし牧草で満腹したとき、彼らは満ち足り、心は高ぶり、そうしてわたしを忘れた。

13:7 わたしは彼らに対して獅子のようになり、豹のように道端で待ち伏せる。

13:8 子を奪われた雌熊のように彼らに襲いかかり、彼らの胸をかき裂いて、その場で雌獅子のように食らう。野の獣は彼らを引き裂く。

13:9 イスラエルよ、あなたは滅ぼされる。あなたの助け手である、わたしに背いたからだ。

13:10 では、あなたの王はどこにいるのか。すべての町のうちで、あなたを救う者は。あなたをさばく者たちはどこにいるのか。かつてあなたが『私に王と高官たちを与えよ』と言った者たちは。

13:11 わたしは、怒ってあなたに王を与え、



また憤ってこれを奪い取る。

13:12 エフライムの不義は束ねられ、その罪は蓄えられている。

13:13 子を産む女の激しい痛みが彼のところに来るが、彼は知恵のない子で、時が来ても、母の胎から出て来ない。

13:14 わたしはよみの力から彼らを贖い出し、死から彼らを贖う。死よ、おまえのとげはどこにあるのか。よみよ、おまえの針はどこにあるのか。あわれみはわたしの目から隠されている。

13:15 彼は兄弟たちの中で栄えている。だが、東風が吹いて来て、【主】の息が荒野から立ち上り、水源は涸れ、泉は干上がる。それはすべての尊い器がある宝物倉を略奪する。

13:16 サマリアは咎ある者となる。自分の神に逆らったからだ。彼らは剣に倒れ、幼子たちは八つ裂きにされ、妊婦たちは切り裂かれる。」

本来、主なる神様はイスラエルを守る方です。しかしイスラエルが主に背いたことで、バアルの味方となり、神に敵対するものとなってしまいました。ですから主は「獅子のようになり…引き裂く。」と仰せられるのです。

私たちも同じです。主は「わたしのほかに救うものはいない。」と言われているのです。イスラエルは「妊婦たちは切り裂かれる。」という恐ろしい目にあいました。主の守りがなくなるとはそういうものです。

ですから主はこの書では、姦淫の妻を赦して愛するホセアのように、イスラエルを一方向的に愛する御心を強調なさるのです。その愛は今私たちにも注がれています。この主の愛に応えましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

